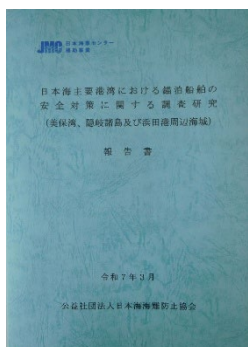


令和6年度補助事業の概要 (公益社団法人 日本海海難防止協会)

1. 錨泊船舶の安全対策に関する調査研究事業

日本海側では、気候及び港湾の地理的特性から季節風や台風襲来の時などに走錨による海難の蓋然性も高く、過去の例からも走錨から乗揚げによる船舶及び港湾施設の損壊等船舶交通の安全の阻害に大きな影響をもたらしている。

これらを踏まえ、日本海西部の美保湾、隠岐諸島及び浜田港周辺海域における錨泊の実態、泊地の地理的特性から避泊地の選定、錨泊における安全対策などを検討する調査研究を実施した。



まえがき
この報告書は、令和6年度に公益財団法人日本海事センターからの補助金を受けて実施した、海難防止に関する調査研究事業の「日本海主要港湾における錨泊船舶の安全対策に関する調査研究(美保湾、隠岐諸島及び浜田港周辺海域)」を取りまとめたものである。
令和7年3月
公益社団法人日本海海難防止協会



【調査報告書】

【委員会開催】

2. 海難防止に関する周知宣伝事業

海難防止思想の普及・高揚に関するポスター・グッズ等の作成、配布を行うとともに地方海難防止強調運動推進連絡会議を開催し、関係機関と連携して海難に対する意識を高め、事故の未然防止に繋げている。(日本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議を報道機関へ公開し、地域の皆様に広く啓発したことにより、効果的な海難防止活動となった。)



【報道機関による取材の様子】

また、当協会の業務や海難防止に関する連絡事項などを掲載した会報を年3回発行し、海難防止や海上交通安全への関心を高めることができた。



【啓発用ポスター】



【啓発用グッズの配布】



【会報 年3回発行】

日本海海難防止協会HP参照
<https://nikkaikb.com/>